

平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年12月3日

上場取引所 東

上場会社名 ピープル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役

(氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当

(氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成26年12月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年1月期第3四半期の業績(平成26年1月21日～平成26年10月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	2,348	4.1	141	1,612.9	147	146.7	90	148.6
26年1月期第3四半期	2,255	16.6	8	△70.3	59	106.4	36	128.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	20.54	—
26年1月期第3四半期	8.26	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	2,260	1,848	81.7	422.38
26年1月期	2,192	1,872	85.4	427.95

(参考)自己資本 27年1月期第3四半期 1,848百万円 26年1月期 1,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	0.00	—	27.00	27.00
27年1月期	—	0.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年1月期の期末配当予想につきましては、改めて年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

3. 平成27年1月期の業績予想(平成26年1月21日～平成27年1月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,417	4.8	278	122.9	283	42.7	174	43.5	39.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	4,437,500 株	26年1月期	4,437,500 株
27年1月期3Q	63,025 株	26年1月期	62,805 株
27年1月期3Q	4,374,529 株	26年1月期3Q	4,375,279 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. 平成27年1月期下期(平成26年10月21日～平成27年1月20日)および
平成27年1月期通期(平成26年1月21日～平成27年1月20日)の業績予想

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	1株当たり 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %	円 銭
27年1月期第4四半期	1,069	(6.3)	136	(16.8)	136	(△2.0)	85(0.0)	19.54
26年1月期第4四半期	1,005	(9.5)	116	(△8.6)	139	(6.1)	85(10.4)	19.54
27年1月期	3,417	(4.8)	278	(122.9)	283	(42.7)	174(43.5)	39.88
26年1月期	3,260	(14.3)	125	(△19.6)	198	(23.5)	122(30.9)	27.79

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	9
①【第3四半期会計期間売上高】	9
②【第3四半期累計期間売上高】	9
③【新発売商品】	9

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

	第3四半期会計期間 (3ヶ月)		第3四半期累計期間 (9ヶ月)	
	(平成26年7月21日～平成26年10月20日)		(平成26年1月21日～平成26年10月20日)	
	金額	対前年同期間比	金額	対前年同期間比
売上高	855百万円	2.6% 減	2,348百万円	4.1% 増
営業利益	77百万円	1.6% 減	141百万円	1612.9% 増
経常利益	87百万円	39.4% 増	147百万円	146.7% 増
第3四半期純利益	54百万円	38.1% 増	90百万円	148.6% 増

当第3四半期会計期間は、8月度、9月度でご報告申し上げた通り、海外販売の米国向け出荷タイミングの調整期間となったことから、売上高は8億55百万円、前年同期間比2.6%減となりました。海外販売の調整期間を含んだ当第3四半期累計期間の売上高では23億48百万円、前年同期間対比4.1%増となりました。

当第3四半期会計期間で想定した通り前年割れとなり、第3四半期累計ではほぼ前年並みを推移している海外販売に対し、国内販売の玩具部門では、当第3四半期最終月10月度で年末商戦向けの出荷が快調にスタートし、当第3四半期の売上高を底上げしています。

玩具部門の底上げをしたのは、乳児・保育カテゴリの中で著しく売上を伸ばしたピタゴラスシリーズです。当期既発売品「小学生ピタゴラス」(税別3,200円)が玩具流通をはみ出し書店流通等に拡販している事や、広告効果で前年新製品の「ピタゴラス算数」の消費者動員が前年比で大幅増となった事、又、10月度発売「ピタゴラスブロック」(税別7,000円)は、昨年に無かった祖父母購入者を新規に動員しています。「ピタゴラスブロック」は、近年著しい「1歳のブロック購入習慣」に照準を合わせ、「初めてのブロックなら磁石入りが正解!」と1歳のお子様が作品を作るシーンを広告したところ、祖父母の強いニーズを刺激し、高額品にもかかわらずお孫様への購入に直結している勢いがあります。

新製品を含むピタゴラスシリーズ広告は相乗効果を生み、既存品「ピタゴラスプレート」(税別12,000円)「ピタゴラスこれなーんだ」(税別4,200円)も同時に回転に拍車をかけ、当四半期のピタゴラスシリーズ売上構成比を最大に広げました。

乳児・保育カテゴリでは、ギフトで御馴染みの“お米シリーズ”の新製品を9月度に集中発売し、前年のお米市場パイを一層拡大しています。当期は伊藤園とのコラボレーションにより、“お茶がらのリサイクル樹脂”を使ったカテキン入り玩具を、従来のお米シリーズに詰め合わせ季節限定新発売し、同時に「お米のままごと」でギフト需要拡大を狙いました。消費者はもちろん、話題の高まりで流通にも人気商材となり、10月度では年末商戦に貢献し始めています。

女兒玩具カテゴリでは、リニューアルパッケージとなったお人形シリーズぼぼちゃんの好調は依然力強く続いています。当第3四半期では、旧パッケージ商品を詰め合わせたお徳用セットを「プレミアムアウトレットセット」と称し、アパレル店等で人気の不織布製おしゃべりバッグにセットしたところ、流通人気を煽り10月度に大量出荷という特需を生み出しています。お店に到着後お母様の即購入にも結び付いています。

又、同女兒玩具カテゴリで当年は、ユニークな新製品「2歳の洗い屋さんシンク」(税別5,300円)を発売し、当四半期売上に反映されています。2歳の女兒が母親の料理中にキッチンに入り母親の真似をしたがる為、仕方なく母親は水道の水で遊ばせている実態から新発想した当該品は、可愛いいちごのシンクと蛇口のおもちゃで本物のお水が循環式で流れます。温度差で色が変わるギミックにより、泥付き野菜やお皿をきれいに洗え、3歳になると本物の野菜も洗えます。全く新しいお手伝い気分を満喫させるリアルままごと玩具で、発売広告が効果を上げ、年末商材の一角に徐々に拡販が進んでいます。

遊具・乗り物では当四半期特有の天候不順もあり縮小している幼児車市場に対し、値上げ後の「公園レーサーNEO」(税別3,980円)の好調や、室内乗用「自分でススムー!」(税別4,980円)の発売、既存品の大型遊具「全身でブロック」等が売上貢献したことから、カテゴリ総合で見ると当第3四半期では縮小を最小限に抑えています。

当第3四半期会計期間では海外販売の減少が売上減に連動し、営業利益は前年同期間対比1.6%減となっていますが、営業外で保有外貨が時価評価されていた前年の経常利益と比べ当期は39.4%増、四半期純利益も連動し38.1%増となっています。

第3四半期累計期間の売上高では23億48百万円4.1%増、ヘッジ会計を導入した当期累計営業利益では1億41百万円となり、時価会計だった前年同期間に対し大きく構造改善されています。これは当中間決算期にもご報告の通り、前37期で予約した米ドルを当38期の仕入決済に随時振当てるヘッジ会計を実施している事が大部分の構造改善の理由です。

又、前期37期で急激な円安により大きく減少した売上総利益率の改善については、当期に入りまだ微々たる範囲に留まっていますが、予約した為替で原価を抑え、一部のリニューアル商品発売や値上げを実施しながら原価合理化に繋げるべく努めています。又、当期新製品が良好に推移し、比較的原価率が低めのピタゴラスシリーズ等が売上に占めた金額が前年に比べ大きかった当第3四半期特有の事情も、多少なり売上総利益に影響しています。

以上のように、当期第3四半期累計期間の営業利益の大幅回復は、当第3四半期累計期間売上高が4.1%増収している事、急激に圧迫され歪となった前年の売上総利益率が当期累計で微量でも改善されつつある事、又、広告費投資配分を販促費に比重を移す等で若干でも経費を抑えた事、等が時価会計処理との違いの上に改善要因となっている事を加えてご報告申し上げます。

これにより当第3四半期累計期間の経常利益は、1億47百万円、前年同期間比146.7%増、当第3四半期累計期間の純利益は90百万円で、前年同期間比148.6%増となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から68百万円増加の22億60百万円となりました。

流動資産は、売上の増加に伴う受取手形及び売掛金の増加や、年末需要に備えた商品の増加等の一方、仕入決済および配当金や法人税等の支払による現金及び預金の減少の結果、20億62百万円となりました。流動負債では、年末需要に備えた仕入増加に伴って支払手形及び買掛金が増加した一方、法人税等の支払に伴う未払法人税等の減少等の結果3億57百万円、固定負債と合わせ負債合計は4億13百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益は増加となりましたが利益剰余金の配当により、前事業年度末より24百万円減少の18億48百万円となり、結果、自己資本比率は81.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、期首より2億16百万円減少し（前第3四半期累計期間比較では77百万円の増加）11億25百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権およびたな卸資産、仕入債務の増加の一方、法人税等の支払により40百万円の支出（前年同期間比較では2億43百万円の支出の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得による支出により59百万円の支出（前年同期間比較では31百万円の支出の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金支払により1億18百万円の支出（前年同期間比較では30百万円の支出の増加）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

（次期第4四半期（平成27年1月期11月度～1月度）および通期（平成27年1月期2月度～1月度）業績見通し）

次期第4四半期の国内販売は、玩具で年末商戦開始月10月度に勢いをつけたものの、年末商戦は最終月の12月度終了まで一層不透明さが増しています。出荷が前倒された分、次月11月度の仮需要の縮小が想定され、12月度1ヶ月の集中消化に依存する傾向が前年よりむしろ強くなっているからです。従いまして、次期第4四半期の国内販売では、流通の過剰在庫回避が12月度出荷に影響すると見て、僅かでも前年を上回る現在のトレンドを下方修正する形で見通しを立てています。一方、第3四半期で調整後の海外販売では、次期第4四半期で船積み量が前年に比べ若干取り戻す見通しで、ドル高換算による増額もあり、次期第4四半期国内外総売上高は6%増、当38期通期売上高では前年比4%増を見通しています。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課せられないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率は、平成27年1月21日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.01%から35.64%となります。

この税率変更による財務諸表に与える影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年1月20日)	当第3四半期会計期間 (平成26年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,341,379	1,124,764
受取手形及び売掛金	349,340	506,777
商品	288,871	376,317
原材料	6,525	27,667
為替予約	18,666	18,810
その他	19,980	8,991
貸倒引当金	△664	△963
流動資産合計	2,024,098	2,062,363
固定資産		
有形固定資産	54,131	76,618
無形固定資産	1,078	2,601
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	112,798	118,756
投資その他の資産合計	112,826	118,784
固定資産合計	168,035	198,004
資産合計	2,192,133	2,260,367
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	111,334	221,677
未払法人税等	86,567	35,998
その他	68,980	99,721
流動負債合計	266,881	357,396
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
繰延税金負債	3,118	5,261
固定負債合計	53,118	55,261
負債合計	319,999	412,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,477,089	1,448,805
自己株式	△33,587	△33,712
株主資本合計	1,845,007	1,816,599
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15,556	19,451
繰延ヘッジ損益	11,571	11,660
評価・換算差額等合計	27,127	31,112
純資産合計	1,872,134	1,847,710
負債純資産合計	2,192,133	2,260,367

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)
売上高	2,254,924	2,348,245
売上原価	1,411,268	1,454,655
売上総利益	843,656	893,590
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	261,910	185,739
販売促進費	41,365	49,408
運賃	127,059	117,348
役員報酬	45,154	46,554
給料及び手当	86,883	83,228
支払手数料	41,574	39,787
研究開発費	108,939	110,637
その他	122,512	119,424
販売費及び一般管理費合計	835,397	752,125
営業利益	8,259	141,465
営業外収益		
受取配当金	515	359
為替予約評価益	18,186	-
為替差益	31,992	3,586
工事負担金等受入額	-	1,000
その他	535	370
営業外収益合計	51,228	5,315
経常利益	59,487	146,780
特別損失		
固定資産除却損	-	10
特別損失合計	-	10
税引前四半期純利益	59,487	146,770
法人税、住民税及び事業税	17,431	45,057
法人税等調整額	5,925	11,881
法人税等合計	23,356	56,937
四半期純利益	36,131	89,833

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	59,487	146,770
減価償却費	29,721	35,887
為替予約評価損益 (△は評価益)	△18,186	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△126,883	△157,437
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△121,796	△108,587
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,874	110,343
その他	△16,820	26,815
小計	△215,352	53,791
利息及び配当金の受取額	522	390
法人税等の支払額	△68,503	△94,204
営業活動によるキャッシュ・フロー	△283,333	△40,023
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,643	△57,141
無形固定資産の取得による支出	-	△1,798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,643	△58,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△125
配当金の支払額	△87,972	△117,822
その他	322	206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△87,650	△117,740
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,539	294
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△395,087	△216,409
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,943	1,341,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,047,856	1,124,633

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しておりま

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第3四半期会計期間及び累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

①第3四半期会計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期会計期間 (自平成25年7月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期会計期間 (自平成26年7月21日 至平成26年10月20日)	前年 同期間比 (%)
乳児・知育玩具	304,833	350,333	114.9
女兒玩具	171,857	181,622	105.7
遊具・乗り物	116,880	116,788	99.9
その他	283,951	206,038	72.6
合計	877,520	854,781	97.4

②第3四半期累計期間売上高 (単位 千円)

カテゴリー名	前第3四半期累計期間 (自平成25年1月21日 至平成25年10月20日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年1月21日 至平成26年10月20日)	前年 同期間比 (%)
乳児・知育玩具	742,167	833,257	112.3
女兒玩具	395,020	454,624	115.1
遊具・乗り物	395,975	362,538	91.6
その他	721,762	697,826	96.7
合計	2,254,924	2,348,245	104.1

③当期新発売商品

(標準小売価格は税別です)

カテゴリー名	第1四半期 新発売商品		第2四半期 新発売商品		第3四半期 新発売商品	
	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格	商品名	標準小売価格
乳児 知育 玩具	「長財布デラックス」	¥1,500	「全身の知育パーフェクト」	¥9,800	「お米のままごとセット」	¥4,600
	「器用ちゃんシューズ」	¥1,380	「やりたい放題ビッグ版2014」	¥4,800	伊藤園コラボ「お米とお茶のつみき」	¥9,800
	「おはし名人への道」	¥1,500	「うちの赤ちゃん世界一ごきげんサークル&のびのびマット」	¥11,800	伊藤園コラボ「お米とお茶のおもちゃセット」	¥5,000
	「あんよつよい子ウォーカー」	¥5,000	「いつかはお片付け 熱中出し入れBOX」	¥1,780	伊藤園コラボ「お米とお茶の歯がため」	¥1,000
	ノンキャラベビーシリーズ「遊べるならし歯ブラシ」他、計7点	¥680～ ¥1,980	「小学生ピタゴラス」	¥3,200	「1歳、今すぐ積めるつみきDX」	¥9,500
					「ピタゴラスブロック」	¥7,000
				「うちの赤ちゃん世界一全身の知育列車&ジム」	¥9,800	
女兒 玩具	人形「2歳のぼぼちゃんおそろいウケン付き」	¥4,380	人形 夏季限定「プールもいっしょ小麦肌のぼぼちゃん」	¥2,980	「2歳の洗い屋さんシンク」	¥5,300
	「やわらかお肌のロングヘアぼぼちゃんキラキラボン付き」	¥4,580	着せ替え「幼稚園ごっこセット」	¥1,680	「お風呂もいっしょロングヘアぼぼちゃん2WAYヘアアクセサリ付き」	¥3,980
	「お風呂もいっしょロングヘア ぼぼちゃんうさぎのチューシャ付き」	¥3,980	「お姉さんパンツ&キャミソール」	¥980	人形「くまさんジャンパースカート」	¥4,380
	着せ替え「一緒にねんねの光るパジャマ」	¥1,280	「うさちゃんボシセットでいってきまーすセット」	¥1,280	人形「くまさんフードマフラー」(冬季限定)	¥4,380
	「うさぎのボレロ」	¥1,280	「お花の広がるスカート」	¥1,280	「ぼぼちゃんデビューセット」	¥9,480
	「ねこちゃんワンピ」	¥1,280	お道具夏季限定「ビーチに変身旅行バッグ」	¥1,980	着せ替え「ピンクのチュチュスカート」	¥1,280
	お道具「おしゃべりベッドいちごのお布団付き」	¥3,480	「お買い物ベビーカーシートベルト&ジョビングバッグ付き」	¥3,980	着せ替え「くまさんのジャンパースカート」	¥1,280
	リニューアル「お買い物ベビーカー」	¥3,980			着せ替え「くまさんフードマフラー」(冬季限定)	¥1,480
	リニューアル「受付つき病院に変身救急車」	¥4,280			プレミアムアウトレットセット	¥3,980～ ¥5,980
遊具 乗り物	「いきなり自転車かじ取り式ターコイズ」	¥23,800	「公園レーザー NEO」2色(ア体「レッド」、ア体「グリーン」)	各¥3,980	「ラクショーライダー」(レッドメタリック)	¥19,800
	「いきなり自転車かじ取り式コラルビシク」	¥23,800			「ピットタンコ自転車」(エメラルド、プラッドオレンジ)	各¥19,800
	「いきなり自転車かじ取り式ガーネット」	¥23,800			「自分でススムーノッ!」(スカート)	¥4,980